

企業理念

わたしたちが社会に果たすべきこと

**すべての人たちとともに、
人と環境にやさしい社会づくりに貢献します**

わたしたちが目指すこと

**社会の期待と要請に対する感性を磨き、
そのためにICTが貢献できることを考え抜く集団になります**

わたしたちが大切にすること

1. 高品質・高技術の追求

社会に役立つ最新の知識を有するとともに、技量を高めます

2. 個人の尊重とチームワークの重視

相手の良い点を見だし、それを伸ばすことを奨励し合い、互いの強みを活かします

3. 社会・お客様・株主・社員にとり魅力ある会社

ステークホルダーの声に真摯に耳を傾け、企業価値向上に努めます

企業行動憲章

**わたしたちは、こどもたちの未来を守るために、
社会および環境に対する責任を果たします**

1. 人と環境の共生を第一に考え、行動します
2. 常に社会的責任の原則に照らし、行動します
3. 社会的責任の中核主題、課題に真摯に取り組みます

※ 社会的責任の原則

社会的責任に関する国際ガイドンス「ISO26000」の7つの原則（説明責任、透明性、倫理的な行動、ステークホルダーの利害の尊重、法の支配の尊重、国際行動規範の尊重、人権の尊重）を指します。

※ 社会的責任の中核主題、課題

社会的責任に関する国際ガイドンス「ISO26000」の7つの中核主題（組織統治、人権、労働慣行、環境、公正な事業慣行、消費者課題、コミュニティへの参画およびコミュニティの発展）、および各中核主題に関する課題を指します。

Purpose

BIPROGYグループらしさや経営の決意



先見性・
洞察力

×



テクノロジー

×



ビジネス
エコシステム

=



社会的価値創出

先見性と洞察力でテクノロジーの持つ可能性を引き出し、
持続可能な社会を創出します

目次

4 社会課題解決に挑む

- 4 At a Glance
- 6 Purpose
- 8 CEOメッセージ
- 14 日本ユニシスからBIPROGYへ

16 Vision2030実現に向けた戦略

- 16 価値創造プロセス
- 18 BIPROGYグループの価値創造の源泉
- 20 Vision2030
- 28 経営方針 (2021-2023)
- 30 「経営方針 (2021-2023)」で目指すこと
- 36 CFOメッセージ
- 40 財務ハイライト
- 42 非財務ハイライト

44 Vision2030実現のための推進力

- 44 CEO・社外取締役座談会
「BIPROGYグループが目指す未来」
- 48 知的財産戦略
- 52 環境
- 56 人財戦略
- 60 コーポレート・ガバナンス
- 68 役員一覧
- 70 インテグリティの向上
- 73 リスクマネジメント

76 Data セクション

- 76 業績概況
- 79 ESG データ
- 82 財務11年間サマリー
- 84 株主・投資家との対話における
主なテーマおよび関心事項
- 85 用語集
- 86 会社情報

報告対象範囲

原則的に、BIPROGY (株) および連結子会社とし、範囲が異なる場合は、個々にその旨を明記しています。

報告対象期間

原則的に、2022年度 (2022年4月1日～2023年3月31日) とし、必要に応じて過年度の活動や2023年度以降の状況についても掲載しています。なお当社は2021年度より国際財務報告基準 (IFRS) を適用しており、2020年度以前における財務情報につきましては日本基準に基づいています。

参考にしたガイドライン

- 国際統合報告評議会 (IIRC) 「国際統合報告フレームワーク」
- GRI 「サステナビリティ・レポート・スタンダード」
- ISO26000 / JIS Z 26000
- 経済産業省 「価値協創ガイドライン」

発行

2023年9月



将来情報に関する注意事項

本報告書に記載されている当社および連結子会社の計画、見通し、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績などに関する見通しであり、これらは現時点で入手可能な情報による判断および仮定に基づいています。実際の業績などはリスクや不確定要素の変動および経済情勢などの変化により、見通しと異なる可能性があり、当社グループとしてその確実性を保証するものではありません。また、これらの情報は、今後予告なしに変更されることがあります。本報告書は投資判断のご参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。本報告書利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

表紙ビジュアルの紹介

[Fluid]

宇宙を動き続ける地球が生み出す重力のベクトル場によって曲がり流れる光の図形を描いています。また、その多色のラインは、持続可能な地球の創成を目指す人びとの多様な連携と行動の軌跡を表わし、多様性を象徴しています。

統合報告書2023のコンセプト

2022年4月に社名を日本ユニシス株式会社からBIPROGY(ビプロジー)株式会社へ変更し、「Purpose」に掲げた社会的価値創出企業となる決意、覚悟とともに、コーポレートブランドを刷新しました。

本報告書では、BIPROGYグループの価値創造の基盤となる「Purpose」のもと、「Vision2030」および「経営方針(2021-2023)」への取り組みを通じて、社会的価値の創出と持続的な成長の実現に向けた当社グループの価値創造についてご説明しています。2023年版においては、「経営方針(2021-2023)」の2年目の進捗および最終年度における取り組みや、マテリアリティへの取り組みを中心にご紹介しています。

社名の由来

BIPROGYは、光が屈折・反射した時に見える7色(Blue、Indigo、Purple、Red、Orange、Green、Yellow)の頭文字を使った造語です。光を集約し、7色に輝かせるハンズオンカンパニーとして、あらゆる垣根を越えた先にある、“光彩”が混ざりあった世界を表現するとともに、「さまざまなビジネスパートナーや多種多様な人々もつ光彩を掛け合わせ、混とんとした社会の中で新たな道を照らし出すこと」、そして「光彩が状況に応じて変化するように、社会や環境変化に応じて提供する価値を変えていくこと」を意味しています。

編集方針

本報告書は、株主・投資家をはじめとするすべてのステークホルダーの皆様に、BIPROGYグループの中長期的な企業価値向上に向けた取り組みおよび社会的価値と経済的価値の両立を実現するプロセスについて、理解を深めていただくことを目的として発行しています。当社グループの価値創造プロセスにおいて特に重要性の高いものについて、財務情報と非財務情報を交えてご説明しています。より詳細な情報については、当社Webサイトをご参照ください。

情報開示

■ **コーポレート情報** [🔗 https://www.biprogy.com](https://www.biprogy.com)

企業情報／ソリューション／事例紹介 ほか

■ **株主・投資家向け情報** [🔗 https://www.biprogy.com/invest-j/](https://www.biprogy.com/invest-j/)

統合報告書／有価証券報告書／決算短信・決算補足資料／決算説明会資料／コーポレート・ガバナンス報告書 ほか

■ **サステナビリティ情報** [🔗 https://www.biprogy.com/sustainability/](https://www.biprogy.com/sustainability/)

サステナビリティレポート ほか